

分類	種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤型	適用場所又は 対象作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10a 当り 使用量	使用方法	登録会社
非 ホ ル モ ン 型	ジフェ ナミド 除草剤	エナイ ド	N,N-ジメチル -2,2-ジフェニ ルアセトアミド 50%	水和 剤	とま と 露地	畑作1年生 雑草 (ただし、 ナス科・キ ク科の雑草 及びツユク サを除く)	全土壌	定着後 雑草発生 前	600～ 800g	10アール 当り100 ℓの液量 を散布 株間土壌 処理	日本農薬、 山本農薬、 日本アッ プジョン
					親株床			定植 活着後 雑草 発生前	400～ 800g		
					本畑 施設マ ルチ栽 培 露地マ ルチ栽 培			定植後及 びマルチ 前の2回 雑草発生 前	300～ 500g		
					露地栽 培			定植 活着後 雑草 発生前	400～ 800g		

「訂正」 6巻1号21ページにおいて、オキサジアゾン除草剤(ロンスター粒剤)をホルモン型除草剤として記載しましたが、本薬剤は非ホルモン型除草剤です。訂正します。

新登録生育調節剤一覧

農林省農政局植物防疫課
昭和47年4月1日～5月31日

農薬名	有効成分の種類 および含有量	剤型	適用作物名	使用目的	使用時期	使用量又は 希釈倍数	使用方法	登録会社
ユゴーザイ F1	α-ナフタリン酢酸 ナトリウム0.004% 硫酸オキシキノリン 0.180%	液剤	りんご	切口の癒 合の促進	剪定直後	直径5cmの 切口に 約2g	切口に塗布	富士薬品 工業
				腐らん病 の防除	4～6月頃	塗布部100 cm ² 当り約 10～20g	病患部を削り とったあとに 塗布	

農薬名	有効成分の種類 および含有量	剤型	適用作物名	使用目的	使用時期	使用量又は 希釈倍数	使用方法	登録会社
ニカゾール	酢酸ビニル・フマル酸 オクチニル共重合体 50.0%	液剤	りんご (ゴールデン デリシャス)	無袋栽培 における 錆果防止	落花直後から 落花1週間ま でに第1回散 布を行い、第 1回散布後1 週間に第2回 散布を行う。 出来れば更に 1週間後に第 3回散布を行 う	25~50倍 (標準散布 量10アール 当たり 500ℓ)	本剤の希釈液 に1~2%の 生石灰、ホウ イトカーボン、 ペントナイト などを混ぜて 果実を中心に 動力又は手押 噴霧機で散布 する	北興化学 工業 トモノ農 薬

植調協会だより

◎ 北海道支部事務所開設記念披露パーティー 開催

昭和45年に北海道支部を設け、三島京治理事を支部長として発足したが、本年6月、北海道庁近くの自治会館（札幌市中央区北4条西6丁目）に事務所を設けた。この記念パーティーを6月26日同会館で開催した。北海道農試次長鳥山正雄氏、北海道農務部長柴田四朗氏、北海道中央農試場長和田忠雄氏はじめ、除草剤関係

者多数が参会し、各氏より激励の言葉を受けた。

なお、同支部の電話番号は、札幌（011）

241局9111番である。

◎ 昭和46年度秋冬作そさい・花き関係除草 剤生育調節剤試験成績検討会開催

日 時 昭和47年6月27~28日

9時30分~17時

場 所 虎の門共済会館（東京都港区）

◎ 昭和46年度ワラビ防除研究会供試除草剤 試験成績検討会開催

日 時 昭和47年7月7日

10時~17時

場 所 長野県畜産試験場（長野県塩尻市）

編 集 後 記

今年は陽性梅雨のためか、入梅らしさを感じないうちに夏を迎えてしまった感がある。

渇水のためか、ダムの水は潤れ、田植えもできない有様が各地でみられた。しかし、何とか田植えをしたものの、その後の水管理に追われ、雑草防除の方に気がまわらぬのか、どうも雑草が多すぎるようだ。

このような時こそ、除草剤の効用が高く評価されるので、上手に使って欲しいものだ。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和47年6月発行

第6巻第3号

¥90（送料50）

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番